

# 討 論

## 【一般会計】

一般会計予算に対し、4名の議員が討論を行いました。

### ― 反対 討論 ―

#### 市民の会・無所属

岩田 京子

吉川市は当初予算編成にあたり「持続可能（SDGs）な街」を柱の一つに掲げた。

SDGsの達成、営政権が掲げた2050年二酸化炭素排出量実質ゼロにむけた取り組み、いずれもこの10年が勝負です。しかし、SDGsという大きな柱を掲げ、言葉としては至る所にちりばめられているが、令和3年度当初予算では具体的なもの、野心的な取組みが見えない。SDGsの基本の「ぎ」であるグローバルな視点と、生物圏・環境に対する考え方、また取り組み姿勢は不十分だと指摘せざるをえません。

## 日本共産党吉川市議団

遠藤 義法

市長の政治姿勢の問題点

第一は、「小さな声、声なき声にしつかりと耳を傾けた事業」と強調しますが、避難所などで女性の視点が重要視されるなか、地域防災会議の女性の割合は15%でしかありません。外出支援策でも、タクシー利用料助成事業は、市街地でも必要とする市民が多くいます。が除外され、困っています。第二は、PCR検査、ワクチン接種の取り組みでも団体と市職員に依拠するのみです。市長は胸襟を開いて市民の命や健康を守る姿勢に立つべきです。

### ― 賛成 討論 ―

#### 未来会議よしかわ

稲葉 剛治

施政方針から吉川市は「価値ある未来を、共に」という

理念の元に、中原市長を先頭に職員のみなさんが事業に取り組んでいくという事が読み取れます。令和3年度は、3つの計画策定に取り組む年となります。市民の皆様から頂いた意見を取りまとめ、市民との共働により進められていくことが、これから先の未来に必要なと改めて確信しています。新たに方向性を打ち出した「スポーツ」と「環境」分野においての事業実施においても注目しています。

## 公明党吉川市議団

五十嵐 恵千子

新型コロナウイルス感染症の克服と経済回復、生活再建、ポストコロナ時代への転換を実行し、安心と希望を全市民へ届けるために、国の対策や予算措置を注視しながら「市民へのワクチン接種実施を最優先」との考えで編成された当初予算案には、①国土強靱化計画策定②児童虐待マニュアルの作成・周知③コミュニティスクールの導入④第一回吉川市展の開催⑤農福連携補

助や農地の最適化推進⑥下八間堀悪水路の改修整備等々、公明党が予てから提案してきた多くの事業が盛り込まれており高く評価し賛成とします。

## 【国民健康保険】

国民健康保険特別会計予算に対し、1名の議員が討論を行いました。

### ― 反対 討論 ―

#### 日本共産党吉川市議団

雪田 きよみ

今回賦課限度額は引き上げられたが、国保税は据え置かれたことは評価する。

「吉川市国保財政健全化計画」には、低所得者の保険料軽減等を目的とする法定外繰り入れについて、財政調整基金を活用しながら2019年度から毎年度10%、2023年度までに50%削減すると記している。

将来、低所得者の軽減措置が削られ、負担が増大するリスクが高い。今でさえ高すぎで払えないという声が非常に多い。通院を諦めたとの声も

聞かれる。こうした状況を更に深刻にするリスクの高い赤字解消計画に反対する。

## 【介護保険】

介護保険特別会計予算に対し、1名の議員が討論を行いました。

### ― 反対 討論 ―

#### 日本共産党吉川市議団

雪田 きよみ

コロナの影響で市民生活が深刻な状況の中で、今回介護保険料は据え置きされた。この点は評価したい。

全国的に訪問介護職員の高齢化が深刻な問題となっている。2019年の全労連の調査で、平均年齢55.5歳。50歳以上が全体の73.0%を占めている。市は市内事業所職員の平均年齢を把握し、訪問介護職員のなり手不足の原因を検討し、国に問題提起するべき。介護保険制度が改定のため使いづらいものになってきたことは間違いのない事実であり、市は要介護者の生活実態を十分調査するべき。